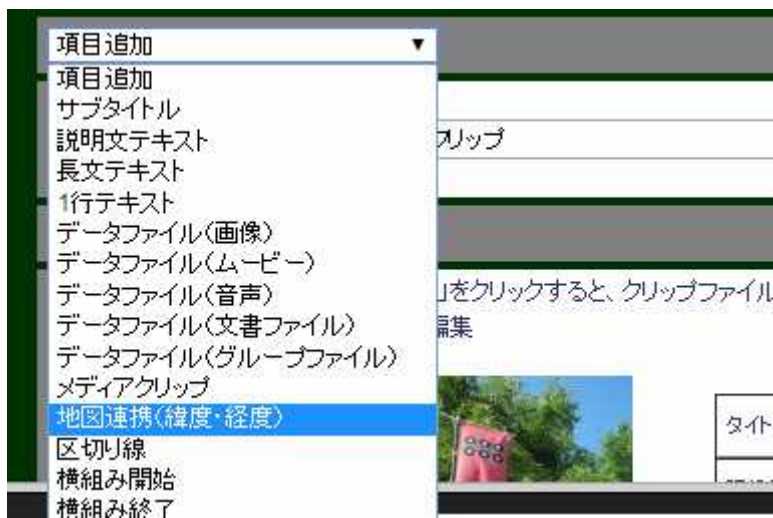


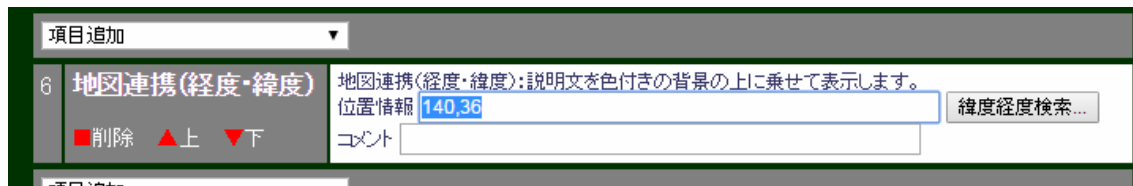
## PushCornのサイトに GoogleMaps の位置情報を加える方法

PushCorn には「カード」に GoogleMaps の位置情報を設定する機能があります。サイトを自動生成処理すると該当のページ（カード）に位置情報マップが表示される他、オープンデータの自動生成でも位置情報を出力します。ただし、プログラムを開発中のため、使い方に制約があります。以下、その作業手順を解説します。

- 【1】「カード編集」の「項目追加」から「地図連携(緯度・経度)」を選ぶ。



- 【2】「地図連携」項目が追加される。ボタン「緯度経度検索…」は現時点では使用不可。



代わりに以下の手順で位置情報を設定する。

- 【3】PushCorn のウィンドウを開いたまま、それとは別に新しいウィンドウを開く。



【4】別ウィンドウから GoogleMaps を開く。位置情報を設定したい場所名や住所で位置を検索する。



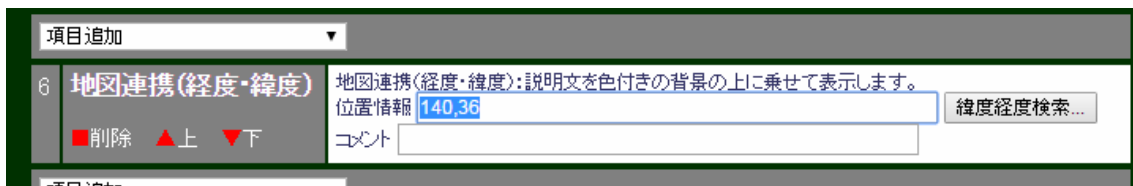
【5】アドレスフィールドに表示されている現在のページの URL から緯度経度のデータのみを範囲指定しコピーする。



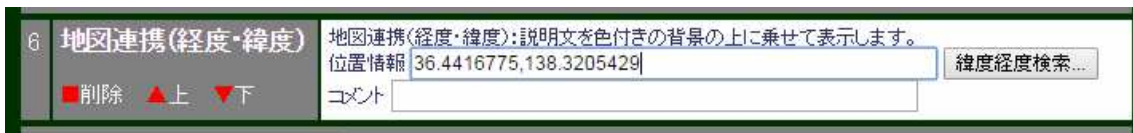
…/@緯度,経度,… のように@に続く2つの数値が緯度経度である。カンマ込みでコピーする。前後のカンマや文字などはコピーしないこと。

【6】位置情報フィールドに緯度経度の数値をペーストする。

(ペースト前)



(ペースト後)



位置情報は **経度,緯度** の順で設定するよう画面上指示はしてあるが、**緯度,経度**

でもよい。この順の方が GoogleMaps のデータを一度にコピーできて楽である。緯度経度が入れ替わっても 日本では常に **緯度<経度** となるので、いずれの数値が緯度か経度かは数値の大小により判別して処理する。